

春の維持会サロン

リモートワーク・AI・職業ロボットから見えてくる労働の未来

－「働き方の未来を50人が読む」4回の調査の総括と今後の課題－

日時：2026年3月25日（水） 14:30～16:00

「働き方の未来を50人が読む」という企画は、2021年に「大原記念労働科学研究所創立100周年記念企画」の1つとして始まりました。「50人」は大原記念労働科学研究所の評議員、理事、維持会窓口の方を始め、大原労研にゆかりのある自然科学研究者、社会科学研究者からなり、質問紙による調査を実施しました。調査は「トピックス調査」と「定点調査」の2部から構成されています。「トピックス調査」では、新型コロナウイルス禍の影響が強かった第1回調査（2021年4月）は、「リモートワークは働き方・暮らし方を変えるか」をテーマとして第2回調査（2022年6月）では、新型コロナウイルス禍の影響が和らいだ状況を踏まえたリモートワークをテーマとしました。第3回調査（2023年9月）では、前2回の調査を踏まえ、リモートワークの技術的背景でもあった職場におけるAIや職業ロボットの導入をテーマとしました。更に、第4回調査（2025年1月）ではリモートワークやAI・職業ロボットも対策の1つと考えられることから包括的に「人手不足・人材不足の10年後」をテーマとしました。

定点調査では、4回の調査において一貫して「働き方や生活の実態」に関連する質問（時間外労働時間、有給休暇取得、健康診断受診率、労災状況、精神障害、女性就労、高齢者終了、非正規労働、外国人就労、IT投資額、東京への一点集中など）を実施しました。

今回の維持会サロンでは、これまでの4回の調査から浮かび上がる現代の労働を取り巻くテーマについて考えてみたいと思います。さらに、これらの結果も参考に、今後「50人調査PJ」としてどんなテーマに取り組むべきか、参加者の皆様からもご意見を伺えればと考えております。

講演後にお茶会を予定しておりますので、ご都合のよろしい方は是非対面参加をご検討ください。

第1部 維持会総会 14:30-14:40

第2部 講演 14:40-15:20

講師：北島洋樹（大原記念労働科学研究所副所長・主任研究員）

第3部 意見交換・情報共有 15:20-16:00
お茶会 16:10-17:30